

あんなに暑かった日が嘘のように、いきなり寒くなってきましたね。「With コロナ」という言葉も浸透してきて、ジオパークでも感染予防対策を徹底しながらいくつかのプログラムを進めています。

## 室戸高校で進んでいるプロジェクト続々…

この紙面上でもたびたびお知らせしていますが、室戸高校生の室戸ジオパーク関連プロジェクトが気づけば増加中。室戸市唯一の高校ですが、授業以外でどんな活動をしているのってあまり知らない方も多いのではないのでしょうか。中学生のみなさん、また中学生のお子様をお持ちの保護者のみなさんにとって「室戸高校ってこんなことしてるんだ」ということも是非知っていただきたいです（ちなみに、ここで紹介している内容は、飽くまで室戸ジオパークと関連した取り組みです。これ以外にもおもしろい取り組みはたくさんあります。室戸高校のウェブサイトをQRコードからチェック！）。



室戸高校ウェブサイト  
QRコード

### 【室戸ジオパークのテーマソングを作成中】

現在三年次の生徒は、「課題研究」という通年授業の中で、一人一人が興味のあるテーマを決めて、研究活動をしたり、ものづくりをしたり、いろいろな活動をしています。その中に、室戸ユネスコ世界ジオパークのテーマソングを作っている生徒がいます。彼は、昨年マレーシアのランカウイユネスコ世界ジオパークを訪問した代表生徒団の団長でした。「室戸の海から見る夕焼け」をイメージした曲を、絶賛レコーディング中です。



### 【保育園児にもわかる！？室戸ジオパークのエッセンスを伝える紙芝居を作成中】

同じく「課題研究」の取り組みとして、室戸ジオパークのメッセージを保育園児にも伝わるように、紙芝居で表現しようと挑戦している生徒がいます。最初は大地の成り立ちについてどう伝えるか、地震についてどう伝えるか、など担当の先生を含めて考えていました。しかし作品作りを進める中で「紙芝居なので子どもたちがおもしろいと思うストーリー仕立てにして、ジオパークが大事にしている人と自然のつながりについて伝える内容にしよう」ということになり、室戸海洋深層水を擬人化したキャラクターが主人公の物語になる予定です。作品として出来上がるのが楽しみです。

### 【国際交流事業はできないけど…徳島県三好ジオパーク構想地域を訪問！現地高校生とも交流します】

今年は室戸高校 × 室戸ジオパークの国際交流連携事業の2ヵ年目ということで、姉妹ジオパークであるランカウイと、国際会議が開催予定だった韓国・済州島に代表生徒が訪問予定でした。しかし、新型コロナウイルスの影響で、すべてが中止に。大人からすると「仕方ない、また来年」という感覚ですが、高校生たちはそうもいきません。高校生としての「また来年」がない生徒もいます。海外には行けないし、長距離の移動もできない…。よし、室戸から一番近くのジオパーク構想地域である三好に行こう！となりました。

考えてみれば行き先としてはぴったりの場所です。三好エリアは山間部。海がなく、四方を山に囲まれていて見える景観が全く違います。川の存在感は地理的にも文化的にも大きく、室戸ジオパークではすることのできない体験ができます。11月初旬に行く予定で、調整中です。現地訪問の様子は室戸ジオパーク SNS 等で発信予定！

【9月18日】 室戸ユネスコ世界ジオパークが世界認定を受けた記念の日。2011年に認定されたあの日のこと、みなさん覚えていませんか？「もうすぐ夜が明ける」という時間帯でしたね。当時まだ大阪にいた私は結果が気になり眠れず、室戸ジオパークのウェブサイトのリロードしまくっていました。今年で9周年になる室戸ユネスコ世界ジオパークの誕生を記念して、10分程度の動画を作成しています。YouTubeチャンネルにアップしているの、見てくださいね。

YouTubeチャンネルQRコードはこちら→



【9月22日】今年から定期的実施している「佐喜浜ミニ八十八ヶ所ハイキング」で好評なのが、八十八体の石像巡りの後の、うちたて蕎麦の「お接待」です。その蕎麦はNPO法人佐喜浜元気プロジェクトのメンバーが、プログラム参加者が山を登っている間にせっせと打っています。本当に「今打った蕎麦」が食べられます。作り置きなし。しかも最近では、室戸産の蕎麦が使用されるようになりました。これも元気プロジェクトのメンバーが自ら植え、収穫し、蕎麦粉にしています。

9月22日に蕎麦の種植えをし、ちょろちょろとかわいい芽がもう顔を出しています。室戸産の蕎麦はいつもの蕎麦より少し色が濃く見えます。味の違いは…、「佐喜浜ミニ八十八ヶ所ハイキング」に参加すれば確認できます。



## 【ご報告】初の室戸ジオパーク環境・防災学習プログラムやりました

8月の津波避難シェルターガイド養成講座を受講したガイドさんが中心となり、大阪市内の中学生ら約180名に対して、室戸ジオパーク環境防災学習プログラムを実施しました。室戸岬では大地の成り立ちを、佐喜浜の津波避難シェルターでは自然災害と防災／減災の取り組みについて学びます。

防災と聞いて怖い場所なのかというイメージがあったけれど、食や自然の豊かさについても知ることができて、将来住んでみたいと思ったという感想を持ってくれた生徒さんがいました。室戸市外や県外からの問い合わせが多いこのプログラムですが、室戸市内の学校さんにとっても郷土学習のきっかけになるプログラムです。お気軽に下記連絡先までご連絡ください。



←プログラム詳細は室戸ジオパーク公式ウェブサイトでも！

<https://www.muroto-geo.jp/event/14392/>



「室戸ジオパークだより」へのご意見・ご感想、ご質問などなど、どんどんお気軽に下記連絡先までお問い合わせください。「こんな情報あるよ！」「こんな情報を掲載して」ということも、お待ちしております。

【発行】室戸ジオパーク推進協議会 (0887-22-5161)

Email: [info@muroto-geo.jp](mailto:info@muroto-geo.jp)

〒781-7101 高知県室戸市室戸岬町 1810-2 (担当：小笠原)

